

アスレチックリハビリテーション～応用編

乙訓高等学校ではスポーツ健康科学科を中心として高校と大学が連携した高大連携授業、企業の研究者の方をお招きして講演会を行う産学連携授業、医療関係者の方をお招きして講演会を行うエキスパート事業を展開しています。

日時：令和6年1月18日（木）

対象：スポーツ健康科学科1年生（40名）

内容：「アスレチックリハビリテーション～応用編～」

講師：京都九条病院リハビリテーション部 海江田 武 先生

前回の基礎編に続いて応用篇を行いました。授業の前半は体の柔軟性などのチェック、後半は足首に不安を持つ生徒に対して実際に動きをチェックしながら普段の状態、練習時の状態、試合時の状態などを含めた問診を行い、その結果からアスレチックリハビリテーションプログラムの提案をしていく流れについて詳しく解説していただきました。

患部のリハビリも大切ですが、患部の状態によって身体全体の動きに影響を与えているのか？など様々な視点からプログラムを提案します。プログラムは1回で終わることはなく、チェックと評価、次の段階のプログラム提示など段階を経て実施していきます。



